

2018年2月12日(月・祝) 13時30分—17時(開場13時) グランフロント大阪 コンングレコンベンションセンター

市民公開シンポジウム

生命を越えるもの

人工知能・ゲノム編集の衝撃



【主催】文部科学省 新学術領域研究 学術研究支援基盤形成 生命科学連携推進協議会
【共催】文部科学省 新学術領域研究 学術研究支援基盤形成
「先端モデル動物支援プラットフォーム」、「先進ゲノム解析研究推進プラットフォーム」
【協力】大阪大学21世紀懐徳堂

定員150名(事前申込制) | 入場無料

生命を越えるもの 人工知能・ゲノム編集の衝撃

生命とは何でしょうか。特定の領域でヒトを凌駕する知性を発揮する人工知能 (AI) や、これまでの技術よりも正確で効率的に遺伝子を改変できるゲノム編集を筆頭に、科学技術の進展は私たちを含む生命に対する考え方のみならず、生命そのもののあり方を変えようとする時代の到来をもたらしました。

本シンポジウムでは、これまで個別に議論されてきた人工知能とゲノム編集という話題の技術の交錯点を探りながら、生命と情報の新たな関係性、それに伴う革新的な産業の可能性や倫理的・法的・社会的課題、これからの研究のあり方などを幅広く議論します。

PROGRAM

- 13:30 開会の挨拶 今井 浩三
13:40 「IBM Watson Healthと医療の世界」 溝上敏文
14:10 「新しいヒト化動物の創成—ゲノム編集の成果と展望」 真下知士
14:50 「ゲノム情報解析と機械学習」 浅井 潔
15:20 「人工知能、生命科学と社会」 江間有沙
16:00 パネルディスカッション 講演者4名(司会:吉澤 剛)
16:50 閉会の挨拶 加藤和人

SPEAKER



溝上敏文

日本アイ・ピー・エム株式会社
ワトソン事業部
ヘルスケア事業開発部長



真下知士

大阪大学大学院
医学系研究科
准教授



浅井 潔

東京大学
新領域創成科学研究科
教授



江間有沙

東京大学
教養教育高度化機構
特任講師

会場 日時
グランフロント大阪
13時30分—17時(開場13時)
2018年2月12日(月・祝)

入場無料

定員150名(事前申込制)

ACCESS

ナレッジキャピタル
コングレコンベンションセンター

〒530-0011 大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪 北館 B2F
www.congre-cc.jp/access/

ご参加希望の方は下記リンクより事前申込ください。

<http://ethpol.org/seminar/20180212/>

【問い合わせ先】

市民公開シンポジウム事務局 大阪大学大学院医学系研究科医の倫理と公共政策学教室
E-mail: symposium@eth.med.osaka-u.ac.jp

